

平成27年度 見附市英語・外国語活動部 活動報告

部長 澤口 佑美子

1 研究主題

英語活動における小中連携の在り方について

2 研究の概要

新潟大学教育学部松沢伸二先生の講演を通して、英語活動における小中連携の在り方についての理解を深める。

3 研究の実際

見附市の英語・外国語活動部では、小・中連携の在り方を研究主題とし、各中学校区単位で連携を進めている。

今年度は、英語活動において、各中学校区における連携をどのように深めていくか模索している現状を踏まえ、専門家による講演を中心に研修を進めた。

研修会前半は、事前に各学校の会員から寄せられた質問に対し、松沢先生が回答する形式で進められた。各校からは、「小・中連携で成果が上がっている学校の取組の具体例を知りたい。」や、「小学校の英語の教科化について、どのように評価するのか、どのレベルまで定着を求めるのか。」「教科化されることによって、中学校での指導はどのように進めていけばよいのか。」などの質問があった。それに対して、東京都の実践例の紹介や、小学校で身に付けさせたい力とそれを生かした中学校での指導の在り方についての講話があり、理解を深めることができた。

後半は、日本の中学校の英語授業や、フィンランドにおける小学校英語の授業の映像を視聴して、優れた英語授業のポイントについて学んだ。



4 成果と課題

前半は部員の質問に答える講演内容だったので、より現場の実態に即した研修となり有意義であった。特に、小学校での英語の教科化については部員からの質問が多く、具体的に回答していただく機会となったことも、よい刺激であった。後半は映像資料をもとに、よい授業の要素について具体的に学ぶことができたことが成果である。

今後は今年度の成果を踏まえ、英語活動・英語の授業に関する問題や提案を各中学校区で交流し、英語活動・英語科の充実に一層取り組んでいく必要がある。